

掛合自治振興会だより

令和3年
10月号
第139号

発行元：掛合自治振興会 島根県雲南市掛合町掛合 2151-1 TEL/FAX：(0854)62-0189 MAIL：kakeya-c@i-yume.ne.jp



健康・防災ウォーキング

秋晴れ？（夏の終わりのような暑さでしたが）の中、恒例のかけや健康・防災ウォーキングを開催し、17名の参加がありました。

10月17日（日）上・佐中・下地区に分かれて
環境美化活動（草刈作業）を実施しました。

環境美化活動（草刈作業）を実施しました。

今回のコースは佐中→穴見谷→平岩→上町を通るコースで歩き、

特に穴見谷の7月の豪雨災害の場所では、『こんな小さな水路が大

量の雨によりこんな大きな被害が起きるのか!』と驚きでした。

現地での説明にあつた3つのポイント

- ①住まいの場所が土砂災害警戒区域か確認
②土砂災害警戒区域情報や雨量の情報に注意
③警戒レベル4で危険な場所から全員避難
の重要性を再確認しました。

いつもより長い距離でしたが楽しく歩けました。

*土砂災害警戒区域の区域図は、掛合交流センターで閲覧ができます。



秋季環境美化活動



部員はその後に道路河川愛護活動として、宗圓寺から忠靈塔までの除草作業を実施しました。参加してくださった部員の方、連続での作業、大変お疲れさまでした。

毎年2回（6月・10月）ご協力いただいている環境美化活動ですが、『ここを変えた方がいい！』『こうした方がいい！』等ご意見がございましたら、各地区に担当の部員がおりますのでお声がけください。

募集中

掛合いいとこ伝え隊

一緒に鳥帽子岩に登りましょう！

鳥帽子岩に登って掛合の街と一緒に堪能しませんか？

令和3年11月27日(土)

- ◆募集定員：初回につき先着10名（定員に達し次第、締め切らせていただきます）
- ◆申し込み：掛合交流センターまで電話（62-0189）又は直接お申込みください。
- ◆案内人：帶刀公平さん（十日市自治会）
- ◆各自用意するもの：飲み物、軽食、熊鈴（ある方）、杖（必要な方）、枝を切るもの
軍手、その他必要と思われるもの

※詳細は回覧をご覧ください！

予告

第3回 小さな町の映画館

コロナ感染予防対策をして開催します。 みなさん、ぜひお越しください！

令和3年 11月21日(日)



- 午前の部：10:00～ ドラえもんシリーズ
- 午後の部：13:30～ 明日の記憶 出演：渡辺謙、樋口可南子他
- ◆場所：掛合交流センター
- ◆入場料：100円（ドリンク代）

※詳細は回覧又は告知放送でご確認下さい！

予告

くらしの学習会

～ごみ分別とカラダの動かし方～

日時

11/13(土)・14(日)

- ①10:00～
②13:30～

- ③10:00～
④13:30～（全4回）

※各回定員30名程度となります。11月5日(金)までにお申し込みください

会場

掛合交流センター

(☎62-0189)

申込み

自治会取りまとめまたは掛合交流センターへ



まだまだ悩ましい「このごみ…プラ？金属？燃えるごみ？」を解決しましょう！
今年度はかけや健康・福祉まつりとの同時開催で、無理のないカラダの動かし方もご紹介します。

掛診だより 第10回



「今年のインフルエンザワクチンは重要です」

雲南省立病院 地域ケア科 太田龍一

今月のテーマは「**インフルエンザワクチン**」についてです。

昨年度は新型ウイルス感染症の蔓延による人の動きが制限されていたこともあって、インフルエンザ患者さんが激減しておりました。しかし今年度は去年の様なことはないかもしれません。

世界全体が新型コロナウイルスに慣れてきたこともあって、人の往来が昨年度よりも多くなっており、今年の冬はインフルエンザが流行る可能性があります。

さらに昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響で、インフルエンザワクチンの接種率が低くなつたこともあり、今年インフルエンザに感染すると重症化する可能性もあります。

特に65歳以上の方に関しては、インフルエンザにかかることによって重症化のリスクが高まります。

新型コロナワクチンとの関係が心配な方もいらっしゃいます。基本的には、**新型コロナワクチン接種後、1ヶ月以上経っている場合はインフルエンザワクチン摂取は可能**です。ご心配なく接種されてください。

診療所でも、インフルエンザワクチン接種の予約を開始しております。希望者の方や詳しく知りたい方は、平日の時間に診療所の方にお電話ください。

新型コロナウイルス感染症の蔓延もまだ落ち着かない状態ですが、是非、インフルエンザに関しても予防していきましょう！

天ちゃんの防災教室

気温等の収集と利用

例えば、風が吹くのも、大気中の部分的な気温の均衡が崩れ、比較的地上付近の気温が上がると空気は膨張し薄くなつて上昇が起きます。その後には周りから薄くなつた部分への保証流が左回りの回転を伴つて寄ってきます。これが低気圧性循環の風(強い風)が吹く原理です。

反対に周りより冷たい空気が下降して来るとそここの部分の空気は次々に密になり、周りと同じ様にならうとする為右回りの空気の吹き出しが起こり、これが高気圧性循環(比較的弱い風)です。

個々の観測点の気象要素の変化の資料は貴重なもので、データに関する地球全体の資料を短時間に把握出来るシステムがあります。

世界中の観測点のデータが判るのは日本では毎正時の場合、国内は約5分の間、世界中のも約15分の間で集約出来ます。データの保存やその表示には通信環境・解析さ

れた内容での差は致し方ありませんが、データは信頼出来るものです。

地上の観測は1.5mの高さ(大人の顔の高さ)に統一された観測値です。また高層気象観測値は地球全

体の流れ(変化)が解り易いですが、高度が高くなる程大気は薄くなりまます。地球から400kmくらい離れると1平方キロメートルあたり1個の空気塊程度と言われ、殆どありません。

海洋でも観測船や各定期航路の船舶、それに決められた場所に設置された洋上観測機械、また上空の航空機等様々な方面からデータが入る仕組みになっていて、集まつた多くのデータは解析されて新しい予測の資料にな利用者は觀ることが出来る訳です。

日本の周りは海で、沖縄から北海道まで長く複雑で温度の差が大きいのも、自然の分布を豊かにしていると言えます。

次回は、『小春日和について』書き





交流センター



カレンダー



日	曜	市・振興会関係	教室・サークル	日	曜	市・振興会関係	教室・サークル	
1	月			17	水	・行政相談 ・室内運動教室	・いきいきサロンコスモス ・さざんかの会	
2	火		・ケアピラティス ・ひまわり教室 ・そろばん	18	木		・コールヨリージョ	
3	水	・文化の日	・さざんかの会	19	金		・そろばん	
4	木		・コールヨリージョ	20	土	・かけイルミ 2021 (12/26まで)		
5	金		・そろばん	21	日	・小さな町の映画館	・収穫祭	
6	土			22	月			
7	日			23	火	・勤労感謝の日	・琴城流交流会 ・そろばん	
8	月			24	水	・いきいきサロン	・なのはな会	
9	火	・筆ペン教室(夜)	・ケアピラティス ・ひばり会 ・そろばん	25	木	・筆ペン教室(昼)	・さわやかクラブ ・コールヨリージョ	
10	水	・いきいきサロン ・にこにこ健口教室	・なのはな会	26	金		・そろばん	
11	木		・コールヨリージョ	27	土	・掛合いいとこ伝え隊		
12	金		・切り絵同好会 ・そろばん	28	日	・外国人向け防災訓練		
13	土	・くらしの学習会	・トールペイント	29	月			
14	日	・くらしの学習会		30	火		・ケアピラティス ・ひばり会 ・そろばん	
15	月			31	水			
16	火		・ケアピラティス ・やっちゃんサロン ・そろばん	※ 橙色は休館日です。 予定は変更されることがあります。				

徒さんのテーマである「人口」という視点でインタビューを受けました。

多くの課題や良いところを踏まえて、掛合自治振興会としての幾つかの取り組みや事業も紹介しました。

前回の中学校での授業で、「人口が減るのを嘆くばかりではなく、掛合の魅力を見つけ、町外の若者に発信し来てもらい、つなぎになってもらつて、その交流を通じて「関係人口」を作り、担い手不足の解消や賑わいの創出が出来れば、希望は見えてくるのではないか」というお話をさせてもらつたことを覚えていて、いただいた提案書にも賛同の意見がありました。

熱心に聞き、メモを取る姿を見たところを残せるのだろう」と考えさせられました。

生徒さんが、私のつたない話を熱心に聞き、メモを取る姿を見て、「私たち大人がこの子たちに何を残せるのだろう」と考えさせています。

生徒さん達がこの学習を通じて、掛合町をより良い町にするためにアイデアを発想し、課題意識をもって進んでくれたらと願っています。



「掛合の大人にインタビュー」を受けて

9月24日、掛合中学校1年生の総合的な学習の時間で、生徒さんのテーマである「人口」という視点でインタビューを受けました。

質問内容はなかなか難しいものもありましたが、「人口減少」「担い手不足」「少子高齢化」「駆け出家対策」等の課題があるという現状や、「自然が豊か」「安心安全な地域」「見守りで安心な暮らし」「顔の見える関係」など良いところもあると言ふお話をしました。

多くの課題や良いところを踏まえて、掛合自治振興会としての幾つかの取り組みや事業も紹介しました。

前回の中学校での授業で、「人口が減るのを嘆くばかりではなく、掛合の魅力を見つけ、町外の若者に発信し来てもらい、つなぎになってもらつて、その交流を通じて「関係人口」を作り、担い手不足の解消や賑わいの創出が出来れば、希望は見えてくるのではないか」というお話をさせてもらつたことを覚えていて、いただいた提案書にも賛同の意見がありました。

熱心に聞き、メモを取る姿を見て、「私たち大人がこの子たちに何を残せるのだろう」と考えさせられました。

生徒さんが、私のつたない話を熱心に聞き、メモを取る姿を見て、「私たち大人がこの子たちに何を残せるのだろう」と考えさせられています。

生徒さん達がこの学習を通じて、掛合町をより良い町にするためにアイデアを発想し、課題意識をもって進んでくれたらと願っています。